

令和6年4月4日

鳥取県知事定例記者会見

小林製薬 紅麹製品等にご注意ください

県内の健康被害状況(4/4 8:30現在)

・健康被害が疑われる事例 1件

県内の流通状況

- ・県内120のドラッグストアから、回収対象食品の撤去を確認済み(4/1まで)
- ・小林製薬製紅麹に関連する自主回収を要する県内企業なし

これまでに喫食し、身体に不安や異常がある方は、**医療機関又は最寄りの保健所に相談してください**

紅麹健康対応チームの体制

小林製薬 紅麹による健康被害があった方への対応チームを各保健所に設置

県 生活環境部・福祉保健部

倉吉保健所

○保健師が電話で健康観察

米子保健所

○医療機関への案内

鳥取市保健所

○腎臓専門医の紹介

相談窓口

倉吉保健所
0858-23-3117

米子保健所
0859-31-9321

鳥取市保健所
0857-30-8552

消費生活センター
0859-34-2648

専用ホームページ



回収命令対象食品(大阪市の行政処分)

回収対象食品をお持ちの方は、**喫食を直ちに中止**してください

紅麹コレステヘルプ 45粒15日分・90粒30日分・60粒20日分

表面

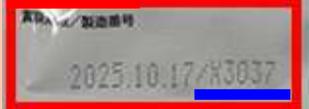
裏面



■想定していない成分を含む可能性がある製造番号

ドラッグストア等の店舗販売分【計14種類】	J3017	X3037
	X3027	X3017
	H3057	H3047
	H3037	H3027
	H3017	F3037
小林製薬通信販売分【計4種類】	F3027	E3037
	E3027	D3079
	X304	H306
	G301	E301

拡大図



ナシヘルプ+コレステロール



ナットウキナーゼさらさら粒GOLD



島根原発2号機に係る申し入れ

能登半島地震の経験に鑑みた島根原発2号機に係る対策等について、米子・境港両市と共に政府、中国電力に申し入れ

- 4月4日中国電力、4月5日政府 ※県・米子市・境港市の連名
- 志賀原発の経験から、島根原発安全対策に影響があるか確認する。
 - ・津波高4m(対策:11.9mの津波を想定し、15m防波壁を設置)
 - ・変圧器油漏れ(対策:漏れた油の吸収対策と火災が起きた場合に備え耐火壁を設置)
 - ・外部電源3系統5回線のうち1系統2回線喪失(対策:3系統5回線の多重化とバックアップに非常用発電機・電源車等)
 - ・周辺モニタリングポスト欠測 など

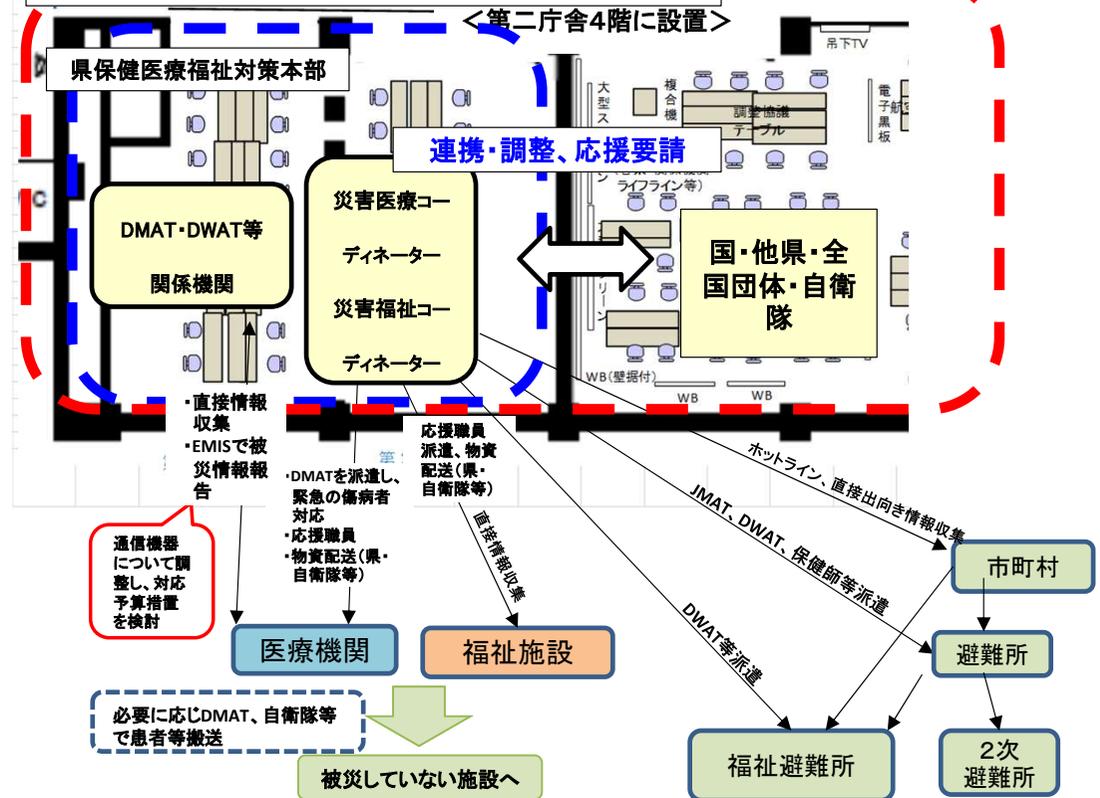
照会先	照会項目
中国電力株式会社	<ol style="list-style-type: none"> 新規基準への島根原発の適合判断は引き続き妥当か 志賀原発では、火災・水位の誤報告、モニタリングポストの欠測等があったが、島根原発での対応の必要性 島根原発の継続的な安全を求める体制はどうか(自主的安全対策) 避難完全実施に対する中国電力の責任はどうか
原子力規制委員会	<ol style="list-style-type: none"> 断層の連動性についての判断、外部電源の一部喪失対策に変更を生じるか 志賀原発では火災・水位の誤報告、モニタリングポストの欠測等があったが、島根原発での対応の必要性 県・米子市・境港市の避難計画に影響を及ぼす可能性はあるのか
内閣府(原子力防災担当)	<ol style="list-style-type: none"> 島根地域の緊急時対応は原子力防災会議で了承されているが、能登半島地震を受けて本県等の避難計画改定の必要を生じるのか 避難完全実施に対する国の責任 避難計画充実に対する国の支援
経済産業省(資源エネルギー庁)	<ol style="list-style-type: none"> 再稼働判断に当たっては安全が第一義であるが、島根原発の安全性は引き続き確保されていると考えるのか 中国電力に対し、安全確保についてどのような対策を求めるのか その他、原子力規制委員会、内閣府への照会項目に対する見解を求める

大規模災害時の「統合型医療福祉災害対策」の導入

「統合型医療福祉災害対策」準備チーム発足(4月5日)
 ⇒関係機関に呼び掛け実施要領策定

- ・医療機関・福祉施設の被災状況の把握
- ・医療サービスの提供確保
- ・福祉サービスの提供確保
- ・被災者の健康管理、感染症対策
- ・国、他県、全国団体等からの受援と分担して、県内への派遣、物資配送等を調整(統合本部設置)

県・関係機関による統合本部設置



障がい者プラン

(第4期:令和6年4月～令和15年3月)

工賃計画、障がい者アート計画も含め一元化し、障がい者施策を総合的に推進

プランに盛り込まれた項目例

あいサポート運動の拡大

- あいサポート運動15周年を契機とした、運動の周知の一層の推進によるあいサポート運動の更なる拡大
 - ⇒地区座談会、地元企業等の普及活動経費の助成を新設(1団体あたり10万円)
 - ⇒業界団体が傘下企業に対して実施する合理的配慮提供の実践を浸透させる事例共有会開催等の経費助成を新設(1団体あたり20万円)
 - ⇒全国手をつなぐ育成会連合会等と協働したあいサポート運動の全国PR(令和6年度当初予算額:あいサポート運動2.0事業 36,482千円)

魅力ある就労B型実現

- 工賃向上 工賃支払総額を平成19年度比4倍以上へ
 - ・平均工賃月額を年2.2%以上の伸びを確保(令和11年度には23,731円以上)
- 就労時間の向上 就労B型事業所の一人あたりの月平均を上昇傾向に
- 満足度の向上 就労B型事業所利用者の満足度100%に近づける
 - ⇒就労B型事業所の利用者の就労時間や満足度の向上に係る環境整備や支援体制強化等の助成を新設(令和6年度当初予算額:10,000千円)(1事業者あたり20万円)

障がい者アートの更なる推進

- 障がい特性にかかわらず障がいのある人や家族が文化芸術に親しめる環境づくりの推進
 - ⇒知的・発達障がい児(者)が舞台鑑賞し音響や照明、鑑賞ルール等を学ぶ
 - ⇒文化施設職員等が障がい特性や鑑賞支援のノウハウを学ぶ研修の実施(令和6年度当初予算額:1,776千円)
- 障がい者文化芸術の発信や水準向上、優れた文化芸術活動を支援
 - ⇒本県の障がい者文化芸術推進の牽引力となるトップアーティストへの助成を新設(令和6年度当初予算額:800千円)(上限40万円で重点支援)

食育推進計画

(第4次:令和6年4月～令和12年3月)

- 「食農教育」を明記
- 災害時対応のため食の備え推進
- 年代別に食品摂取量の指標設定

計画の概要

- ・農業体験活動等:小学校75%以上
- ・ローリングストック(循環備蓄):70%以上
 - ⇒災害時の食の備え普及啓発補助(令和6年度当初予算額:2,305千円)
- ・働き盛り世代の肥満者の減少
 - 40～50歳代男性25%以下
 - 40歳代女性15%以下
- ・高齢世代の低栄養傾向の改善
 - 65歳以上男性10%以下
 - 65歳以上女性24%以下
 - ⇒ご当地体操×ご当地健康料理交流大会の開催等(令和6年度当初予算額:3,531千円)

■ようこそようこそ鳥取県運動取組指針

県全体のおもてなし機運の向上や観光産業の高付加価値化を推進し、観光振興を通じた活力ある地域社会の形成を目指す！

計画期間 R6年度～R9年度

新たに位置づける主な項目

- ねんりんピックや大阪・関西万博等を契機に「おもてなしの心」の醸成
- 欧米圏を視野に高付加価値旅行の取込
(小型ビジネスジェットを活用したモニターツアー、ガイド・コンシェルジュ等の人材育成等)
- 観光産業の収益性向上、観光DX等で『持続的な観光地づくり』
- 誰もが安心して楽しめる『ユニバーサルツーリズム』の推進
- 世界に誇る「砂丘」「三徳山」「大山」等アドベンチャーツーリズム
- 国際定期便・定期貨客船・チャーター便・クルーズ船の就航促進・安定運航による多角的な市場でのインバウンド誘客の促進

数値目標

指標	R9目標	R1実績(コロナ前)
観光入込客数	11,000千人	10,128千人
観光消費額(一人当たり)	30,000円/人	28,925円/人
宿泊者数	2,800千人	2,368千人
再来訪者の割合(3回以上の訪問)	70%	65.6%
外国人宿泊者数	300千人泊	185千人泊

■犯罪のないまちづくり推進計画

- ①「犯罪被害者に寄り添う支援のあり方検討会」の意見を踏まえ、被害者支援を大幅に強化
- ②特殊詐欺、サイバー犯罪、性暴力等の防止

計画期間 R6年度～R9年度

改定のポイント

①犯罪被害者等支援

○「犯罪被害者に寄り添う支援のあり方検討会」の意見とりまとめを踏まえ、犯罪被害者等に寄り添った支援体制・施策を強化・拡充

- 警察、民間支援団体がそれぞれ提供していた支援を県の支援制度として、犯罪被害者総合サポートセンターに一元化
- 被害直後における緊急避難・緊急医療の支援回数等の拡充、新たな生活支援(配食、家事、介護等)の提供等
- 経済的支援(緊急支援金等)の拡充

②犯罪防止

○急増する特殊詐欺、サイバー犯罪等の防止対策強化
○子どもをはじめとした性犯罪・性暴力被害の未然防止の推進

- 防犯機能付き電話機の普及(市町村を通じて支援)、高齢者向け特殊詐欺被害講座の開催、サイバー犯罪の情報発信等
- 子どもに係る施設等の職員・保護者への啓発、発達段階に応じた性犯罪・性暴力から身を守る対策の啓発等

数値目標

指標	R9目標	現状値(R4)
高齢者防犯講習の実施回数	220回	89回
犯罪被害に係る通報協力医療機関数	18医療機関	-

産業・雇用・運輸関係懇談会の開催（4月10日）

- 円安の進行、マイナス金利政策の解除、ゼロゼロ融資の返済本格化、賃上げなどを協議。
- 4月1日からの時間外労働規制強化に伴い、長距離輸送への懸念、荷主と運送事業者との運賃・作業分担の見直しなどが顕在化してくる「物流2024年問題」も協議。
 - ✓ メンバー：経済・金融・運輸・農水産業の関係団体

県内の経済・雇用情勢

- 製造業・非製造業ともに売上が回復基調。一方で人手不足。
- 賃上げの動きが見られるが、価格への転嫁は途上。
- 物流2024年問題で、荷主と運送事業者の話し合いが進む。フォローが必要。

物価指数（2月）

企業物価 **+0.6%**（対前年比）※4ヶ月連続0%台が続く

消費者物価 **+2.8%**（対前年比/生鮮食品除く総合）※4ヶ月ぶりに伸び率が拡大

景況感（3月）

個人消費・設備投資など持ち直しも先行き不透明

（山陰業況判断DI/3月調査：6ポイント悪化(12→6)、先行き：1ポイント悪化見通し(6→5)）

2023年の倒産件数 **19件**（全国2番目の少なさ）

雇用

有効求人倍率 **1.32**（正規1.07倍/全国 1.26倍(正規1.04倍))(R6.2)

産業振興未来ビジョンの改訂(R6.4)

- 社会経済環境変化を踏まえ、現行ビジョン（R3.4策定）を**全面リニューアル**。
- 「**地域産業の安定**」「**成長力の強化**」「**人材の基盤づくり**」の視点で、当面3年程度、6つのプランを集中展開。
- **GDP2兆円・製造品出荷額1兆円**の成長目標（令和15年度までの10年間）

【6つの新たなリーディング・プラン】

- ① 持続可能な経営・労働環境構築プラン
- ② 基盤産業・地場産業発展・成長プラン
- ③ 人・企業を呼び込む産業創造プラン
- ④ 産業・ロジスティクス生産性向上プラン
- ⑤ ビジネスによる社会課題解決・企業価値向上プラン
- ⑥ 人材確保・人への投資強化プラン

保育人材確保検討会

全国的に短期大学の入学者確保が厳しい状況にある中、県内の保育士不足を解消すべく、鳥取短期大学における保育人材養成強化について検討会を設置（第1回：4月16日）

入学状況等 (定員：140人)	年度	R4	R5	R6
入学者		90人	105人	62人
定員充足率		64.3%	75.0%	44.3%

メンバー

藤田学院、鳥取短期大学、県内保育関係団体、県教育委員会、私立学校協会、県

検討内容

- ・鳥取短期大学幼児教育保育学科の今後の入学者確保戦略
- ・保育士等修学資金貸付制度の見直しなど、今後の保育人材確保策
- ・R7年度学生募集に向けた戦略 など



【R5.12.3新たな協定締結】

開催スケジュール

- ・4月16日に第1回検討会を開催

鳥取県立まなびの森学園 開校式・入学式(4/12)



校章

**中国地方初！
県立での「夜間中学」が開校！**

＜開催日時等＞

令和6年4月12日（金）

- ・学校見学
- ・開校式
- ・入学式



校歌制作者は鳥取県出身の

シンガーソングライター**杏沙子さん**

開校式、入学式で校歌披露！

いろとりどり [色鳥取] に、ともに自分らしく学ぶ

～ 県立夜間中学 3つのよろこび～

「学ぶ」
よろこび

「つながる」
よろこび

「社会の中で生きる」
よろこび

＜入学予定者＞

合計	第1学年	第2学年	第3学年
9名	7名	1名	1名

鳥取県立美術館 竣工

4月7日(日) 鳥取県立美術館活用
推進協議会設立

鳥取県知事、倉吉市長、倉吉商工会議所会
頭、中部観光推進機構会長、とっとり県美応援
団長 等

《主な協議事項》

◆竣工する県立美術館の活用

開館前の準備期間や開館後のイベント、レセ
プション等への活用

◆経済振興や誘客など活性化へ連携

文化芸術や経済の振興、観光誘客や周遊促
進、おもてなしなど機運醸成 など

〈倉吉市検討事業〉

・倉吉未来中心周辺環境整備

➢ 飲食・物販施設建設、美術館西側駐車場
整備

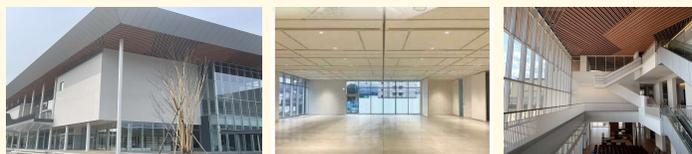
・周遊観光のための総合交通対策(グリーンス ローモビリティ導入等)

4月8日(月) 竣工式・内覧会

・延床面積：10,599㎡

- ・1階：ひろま、県民ギャラリー、ショップ・カフェ
- ・2階：コレクションギャラリー5室、収蔵庫4室
- ・3階：企画展示室、展望テラス

開館：令和7年3月30日



世界的な建築家「槇文彦」氏の
総合計画事務所が設計



参議院改革協議会選挙制度に関する
専門委員会への参考人出席

■4月5日 参議院
現行選挙制度の課題(特に合区の
現状)について意見陳述

参考人 平井伸治 鳥取県知事
濱田省司 高知県知事

ねんりんピックの成功に向けて
(開催まであと198日)



●大会実施本部会議を開催

- 観光・交通対策、医療救護体制の確保など、
大会運営の推進体制を確認

●ボランティアセンターを強化(4月～) (県社協組織:2→4人体制)

- おもてなし研修の開催、選手へのプレゼント
やメッセージカード作成などおもてなしを充実
- 会場周辺のクリーンアップ活動や飾花の設置
などの県民主体のおもてなし活動を支援

●市町村リレーイベントを開催中

- 4/7倉吉市、4/12江府町、4/24琴浦町、
4/28米子市 など